

保 証 書

型 式	オイルレス エアコンプレッサー SW-121	お 買 上 げ 日 年 月 日	保 証 期 間 1 年 (業務使用時は6ヶ月)
お 客 様	ご住所：〒 お名前： 電 話： - -		
販 売 店	ご住所：〒 お名前： 電 話： - - 印		

太線枠内に記入がない場合、またはそれに代わる資料の添付がない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買上げの販売店に本書をご提示の上、点検、修理をご依頼ください。

保証期間中でも下記の場合には有料修理となります。

- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・お買上げ後の落下、運送等による事故及び損傷。
- ・火災・地震・落雷・その他天災地変・公害・煤煙・薬品・鳥ふん・塩害・異常電圧などによる故障及び損傷。
- ・車両・船舶などに搭載された場合の故障及び損傷。
- ・消耗部品・磨耗部品の交換、修理。
- ・保証書のご提示がない場合。
- ・保証書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がないか、それに代わる資料の提示がない場合、または、字句を書き換えられた場合。
- ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.

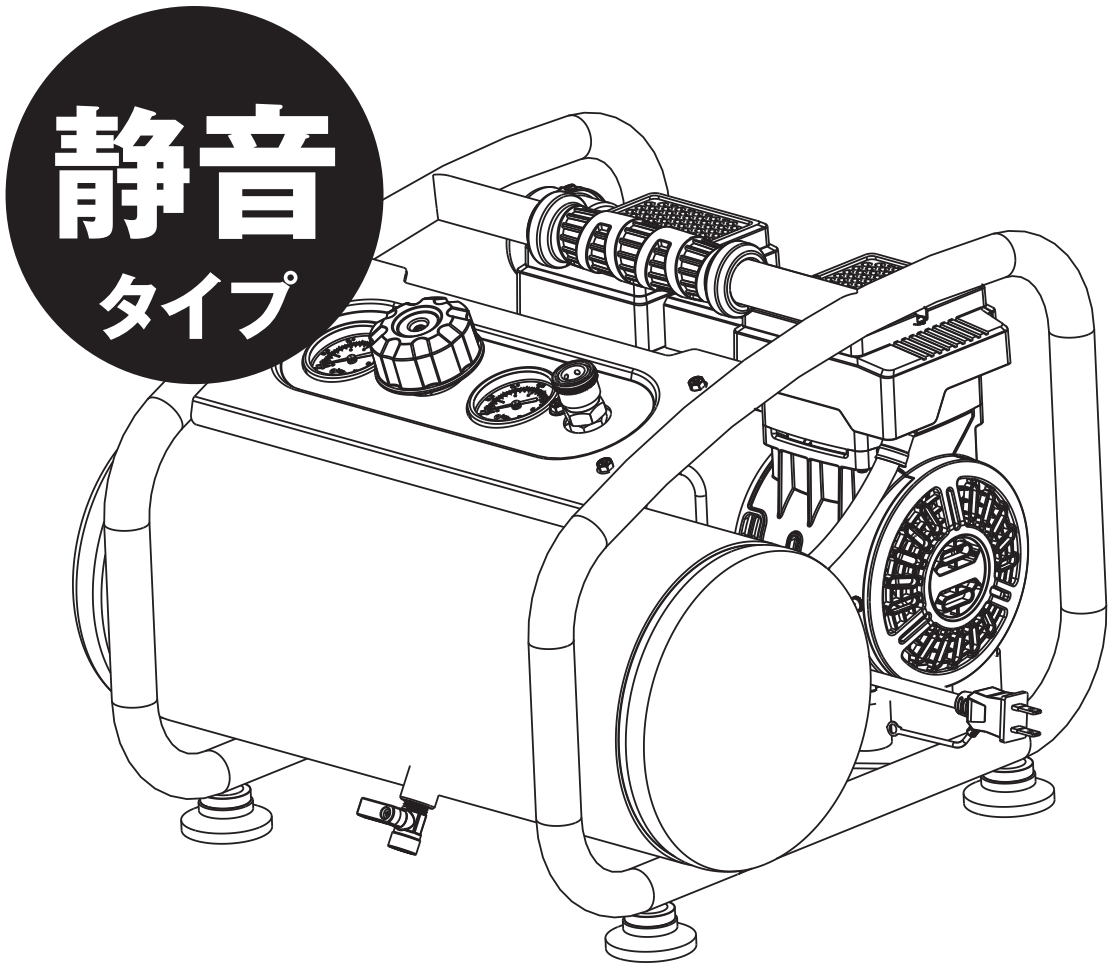
本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

総発売元
藤原産業株式会社

情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
近 畿 支 店：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160
中 部 支 店：〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16	Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239
九 州 支 店：〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
鹿児島営業所：〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号	Tel.099-285-1748(代)
広島営業所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
東京支店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
熊谷営業所：〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1	Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275
札幌営業所：〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号	Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
神奈川営業所：〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードリーム1階	Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022
金沢営業所：〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256	Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515



取 扱 説 明 書
オイルレス
エアコンプレッサー SW-121



■この度は、**SK11** 商品をお買上げいただき、ありがとうございます。

■ご使用の前に **必ず本書をお読み** いただき、正しい使用方法を理解してください。
誤った使用方は、事故や故障の原因となります。

■取扱説明書は大切に保存し、必要な時にお読みください。

オイルレス
エアコンプレッサー SW-121
取扱説明書

目次

1.製品仕様	1
2.安全上のご注意	2
3.その他のご注意	3
4.各部のなまえ	5
5.ご使用方法	5
6.保守・点検	7
7.故障かな？と思ったら	8

1.製品仕様

(注：0.1MPa ≒ 1気圧 ≒ 1kgf/cm²)

商品名	SK11 オイルレス エアコンプレッサー SW-121		備考
型式	SW-L11MPF-01		
電動機サイズ	0.75kW		
本体寸法	長さ480 × 幅450 × 高さ340 mm		
本体乾燥質量	22kg		
空気圧縮方式	レシプロ式(往復動ピストン方式)		
定格電圧(50/60Hz)	AC100V		
負荷軽減機構	モーター停止時：吐出管減圧アンローダーバルブ式		次回始動準備用
定格周波数	50Hz	60Hz	
定格回転速度	1350min ⁻¹	1570min ⁻¹	最高使用圧力時
定格消費電流	7.0A	9.2A	最高使用圧力時
定格消費電力	685W	860W	最高使用圧力時
吐出空気量 ※1	95L/min	104L/min	0MPa時
	62L/min	68L/min	0.45MPa時
	53L/min	58L/min	0.6MPa時
	37L/min	43L/min	最高使用圧力時
最高使用圧力	約0.85MPa		
圧力制御範囲	約0.65MPa～約0.85MPa		圧力スイッチ on ～ off
タンク容量	11L		
定格時間	連続		
騒音レベル[dB(A)/1.5m]	62dB	64dB	4方向平均値
製造地	中国		

※1 空気吐出量は表記圧力時に吐出す空気量を吸込み状態に(標準大気圧、20℃)に換算した値です。
注:本製品の仕様や品質は性能向上のため予告なく変更することがあります。また、仕様は参考値を含みます。

2.安全上のご注意

■この取扱説明書及び本体に貼り付けたラベルには、安全に関する重要な注意事項を、⚠ 警告、⚠ 注意のマークを使用して表現しています。製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味は次の通りです。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷などの重大な結果または傷害に結び付く可能性があります。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、製品の故障や家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があります。

エアコンプレッサーのご使用上の注意

⚠ 警告

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- 本製品の圧縮空気は人体や動物の送気用には絶対にご使用にならないでください。
- 使用中の作業場所には関係者以外は近づけないでください。特にお子様にはご注意ください。
- 揮発性可燃物(ガソリン・シンナー等)や可燃性ガスのある場所では絶対にご使用にならないでください。爆発や発火の危険性があります。
- 一重絶縁構造です。漏電または感電事故防止のため、適切に接地(アース)してご使用ください。アースの設置等は電気工事士にご相談ください。
- 感電防止用漏電遮断器の設置された電源でご使用ください。
- 分解や改造は絶対にしないでください。
- 雨中や水のかかる場所または湿気の多いところでは絶対にご使用にならないでください。
- 炎天下など高温になる場所でご使用にならないでください。
- 電源はAC100Vです。15A以上のコンセント・20A以上のブレーカーが設置されている電源を使用してください。
- 移動時・作業終了時は必ず電源をお切りください。そして、ドレンコックを徐々にゆるめ、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出し、電源プラグはコンセントから抜いてください。
- 作業環境に応じた服装で作業してください。(安全メガネ・耳栓・安全靴・作業着・ヘルメット・安全靴など)
- 使用前に本製品及び使用機器の点検を行ってください。万が一、異常がある場合は絶対にご使用にならないでください。
- ボルトやナットが緩んでいたり、亀裂や破損がみられた場合は絶対に使用しないでください。
- 直流電源では絶対に使用しないでください。
- エンジン発電機では電気容量や機種によってはご使用になれない場合がございます。場合によっては故障の原因になりますので販売店にご相談ください。
- 硬く水平な場所に設置してください。
- ごみやほこりの多いところに設置して使用しないでください。
- 衝撃や人為的な曲げを与えないでください。
- 濡れた手で絶対に触れないでください。
- 電源コードを引っ張るなど乱暴に扱わないでください。
- 通風口を塞いだり、異物を入れないでください。
- ぶついたり落下させるなど乱暴に取り扱わないでください。
- 小さな囲いの中や箱の中で使用せず、風通しのいいところでご使用ください。
- 上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。
- 運転中は非常に高温になる部分がございます。素手で触らないでください。
- 運転中に異常を感じたら中断し使用しないでください。



⚠ 注 意

■このコンプレッサーは、壁などから30cm以上離してください。また、コンプレッサーの**放熱を妨げるような**覆いやダンボールを被せて運転しないでください。空気冷却式ですから風通しが悪いと過熱する恐れがあります。

3.その他のご注意

1 電源についてのお願い

⚠ 注 意

このコンプレッサーは起動時や再起動時に定格消費電流の3～4倍の電流が必要です。
電流容量が不足すると以下のような症状が出ます。

- ウーンと唸ってモーターが回らない。
- ウーン～プスン～ウーン～プスンとモーターが鈍い回転で回る。
- リセットボタン（サーキットプロテクター）が飛び出る。
- 配電盤のブレーカーなどが落ちる。
- 内蔵のサーモスタットが作動する。

このような症状が出たら！

STEP1) 15A以上のコンセント及び20A以上のブレーカーが設置されている電源をご使用ください。

STEP2) 延長ドラムはコードを引き出してください。

STEP3) 延長コードや延長ドラムから接続せずに直接コンセントから接続してください。

STEP4) 同一のコンセントで他の電化製品を使用せず、コンプレッサーを単独でご使用ください。

STEP5) 近くのコンセントで他の電化製品を使用せず、コンプレッサーを単独でご使用ください。

STEP6) 配電盤の1つのブレーカーに対してコンプレッサー単独でご使用ください。

STEP7) 配電盤に近いコンセントでご使用ください。

※電気容量はあらゆる状況で変化します。配線の状態や周辺の電気機器の使用状況など配電について不明な点は電気工事士にご相談ください。

2.エア工具使用上のご注意

⚠ 注 意

- エアコンプレッサーの圧縮空気はほこりや水・油などを含んでいます。ご使用の際は十分に注意してください。できるだけ清潔な圧縮空気を供給する為にエアフィルター（空気清浄機）やエアドライヤなどを配管の途中に設置することをお勧めします。特にエアダスターをご使用の場合には十分注意してください。
- エア工具は付属の潤滑用エア工具オイルを適宜注油してください。注油を怠るとエア工具の故障や部品異常消耗の原因になります。
- その他、エア工具等の取扱説明書をよく読み、その指示に従ってください。

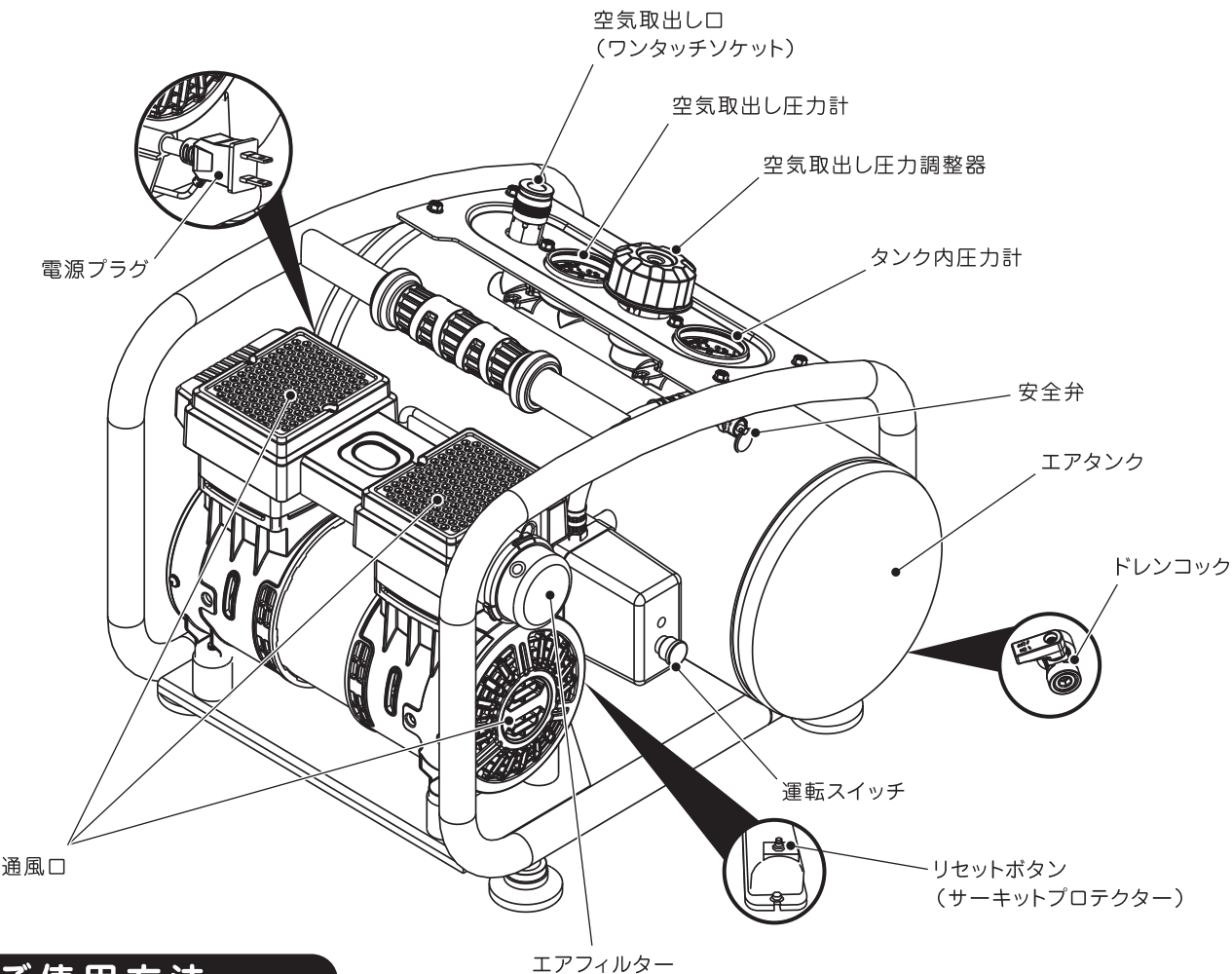
3.エア工具の選定について

コンプレッサーの能力よりもエア工具の空気消費量が多いと作業が順調にはできなくなります。
下表を目安にエア工具を選定してください。
尚、この表は一応目安ですので、エア工具によってはこの表の通りにならないことがあります。

エア工具選定（目安）表			
（注：0.1MPa ≒ 1 気圧 ≒ 1 kgf／cm ² ）			
SK11エアコンプレッサー		SW-121	備考
仕様	電動機のサイズ(kW)	0.75	
	最高使用圧力(MPa)	0.85	
	圧力制御範囲(MPa)	0.65-0.85	
	吐出空気量(50-60Hz) (L/min)大気圧換算値	53-58	0.6MPa時
	エアタンク容量(L)	11	
エア工具	エア連結釘打機	△	
	エア仕上釘打機	◎	
	エアタッカー	◎	
	エアダスター	△	
	タイヤ空気入れ	◎	
	洗淨ガン・クリーナー	△	
	小型インパクトレンチ	△	
	中～大インパクトレンチ	×	
	エアブラシ	◎	
	スプレーガン	△	
	エアドリル(3/8")	△	
	エアドライバー(3/8")	△	
	エアディスクグラインダー(5")	×	
	エアベルトサンダー	×	

◎：連続使用 / △：断続使用 / ×：使用困難

4.各部のなまえ



5.ご使用方法

1.運転前の日常点検・確認

警告

■点検・整備の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、エアタンク内の圧力を開放してください。モーターが急に廻り出したり、外した部分が吹き飛ばされたりする恐れがあります。

- (1) 電源はAC100V (50Hzまたは60Hz) で15A以上のコンセントをご使用ですか？
 - (2) 延長コードを使用していますか？
- ご使用の場合は出来るだけ断面積(太さ)の大きいものをご使用ください。

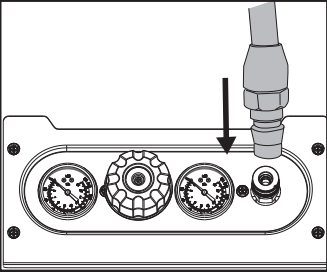
目安

機種	断面積	許容電流	長さ
SW-121	2.0～3.5 mm ²	17A以上	40 m以下

- (3) コードリールはコードを全部引きだしていますか？コードを巻いたままで使用すると電気容量不足となり、エアコンプレッサーが正常に作動しないことがあります。
- (4) 各部締め付け部が緩んでいませんか？緩んでいる場合は適正なトルクで締めつけてください。
- (5) 各部に亀裂や破損はございませんか？異常がある場合は修理に出してください。
- (6) 設置場所は平らでエアコンプレッサーは安定していますか？安定していないと使用時に移動したり倒れたりして故障や事故の原因になります。
- (7) エアタンク内に水がたまっていませんか？ドレンコックを開放して中の水や汚れを排出してください。
- (8) 電源コードの絶縁被覆が傷ついたり、溶けたりしていませんか？異常がある場合は修理に出してください。

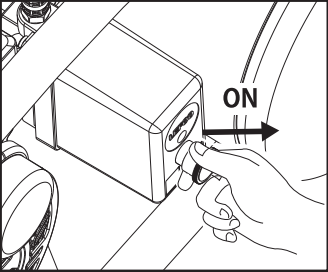
2.運転

(1)エア工具の取り付け



空気取出し口にエアホース等を差し込みます。ワンタッチソケットになっていますので、プラグを差し込むだけで接続できます。

(2)スイッチを入れる

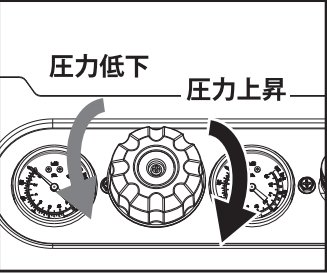


運転スイッチを引きスイッチをONにするとタンク内にエアを溜めはじめます。タンク内の圧力が0.85MPaになると、自動的に停止します。

警告

■安全弁やドレンコックからエアを放出する際は、顔や身体を近づけないでください。

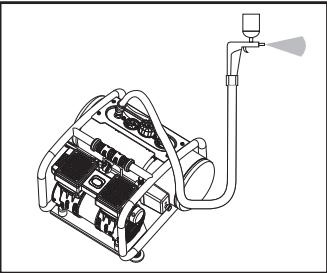
(3) 空気取出し圧力の調整(タンク内圧力より高くすることはできません。)



- 空気取出し圧力調整器のつまみを「-」方向(反時計回り)に廻すと取り出し圧力が低くなり、「+」方向(時計回り)に廻すと取り出し圧力が高くなります。
- 空気取出し圧力計を見ながら、使用するエア工具に適した圧力に調整します。
- 次の表を目安に、エア工具に合わせて調整してください。尚、この表は一応の目安ですので、実際に使用するエア工具の指定圧力に合わせてください。

用途・エア工具	調整圧力 (MPa)
コーキングガン、ゴムボートなどの空気入れ	0.1
エアブラシ、自動車タイヤの空気入れ	0.2
塗料スプレー、薬剤スプレー、自動車タイヤの空気入れ	0.3
エアダスター、エンジンクリーナー、タッカー、仕上釘打機	0.4
自転車タイヤの空気入れ、エンジンクリーナー	0.5
連続釘打機、エアインパクトレンチ等	0.6

(4) 準備完了



準備完了です。エア工具をご使用いただけます。

(5) エアツール等で空気を消費してタンク内圧が圧力制御範囲以下になるとモーターが始動し、圧力制御範囲の最高になるとモーターが停止します。このようにエアコンプレッサーは自動的にON/OFFを繰り返します。

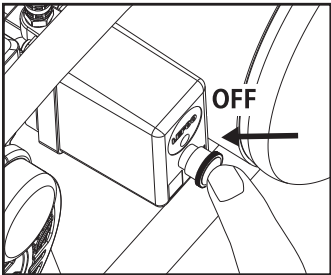
警告

■運転中は空気の圧縮熱の為、モーターなどは高温になっていますので注意してください。

(6) コンプレッサーが連続運転しているのにタンク内圧力がエア工具に適した圧力以下に下がってしまう場合は、エア消費量がコンプレッサーの能力以上になっていますので、エア工具を能力の低いものに交換するか、使用する時間を短くして断続使用してください。

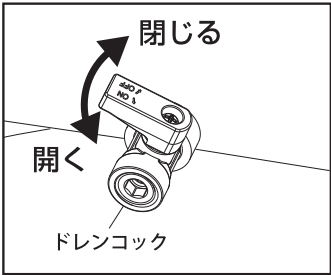
3. 停止

(1) スイッチを切る

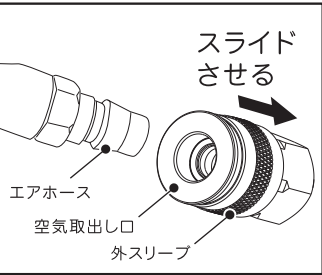


作業が終わったら、運転スイッチを押し込み電源を切ります。

(2) コンプレッサーの電源プラグの成形部を持ってコンセントから引き抜きます。



(3) エアタンクの下のドレンコックを開いて(レバー下向き)水・汚れとともにエアタンクの空気を抜いてください。



(4) 空気取出口からエアホースを外してください。(ワンタッチソケットの外スリーブを奥にスライドさせると外れます)

警告

■エアホースを外す際は、ホース内圧の反動でホースが飛び跳ねることがあります。ホースをしっかりと保持してからホースの接続を解除してください。空気取出口圧力調整器で取出口圧力を低くしてから解除すると安全です。

注意

■エアタンク内に溜まった凝縮水ドレンはその日のうちに抜いてください。水抜きを怠りますと、タンク内に蓄積されてタンクの容量が減少します。ドレンは茶色がかかったものがでることがありますが、タンク内のサビなので異常ではありません。
■運転スイッチ以外でコンプレッサーを停止させないでください。分電盤のスイッチや電源プラグの引き抜きなどで停止させると、次回作動時に正常に回転しないことがあります。

4. 長期保管

- (1) 長期間使用しない場合は、ドレンコックを開き(レバー下向き)にしてタンク内の水を抜きます。
- (2) ドレンコックを閉じて、コンプレッサー、エアタンクの外部をオイルのしみた布で清掃します。
- (3) ビニールカバーなどのホコリ除けを被せて、ホコリや湿気の少ない所に保管します。

6. 保守・点検

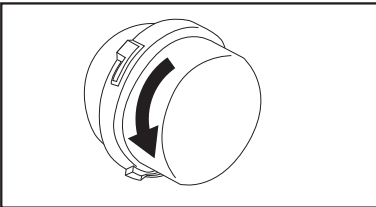
警告

■点検・整備の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、エアタンクの圧力を開放してください。

◎エアフィルターのエレメントの清掃

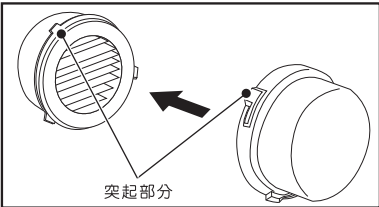
- ・エアフィルターのエレメントが粉塵などで汚れてないか、**運転50時間**に1回位、フィルターカバーを外して、エレメントを点検します。
- ・汚れていたらダスター等で汚れをとばしてください。汚れがひどい場合はフィルターを交換してください。(別売)

フィルターカバーの外し方



左方向に少し回すと外れます。

フィルターカバーの取り付け方



突起部分が3箇所あるので、合わせてから右方向に少し回します。

◎空気吐出量の点検

・再起動から停止(最高使用圧力)までの所要時間を参考にしてください。

所要時間(0.65MPa - 0.85MPa)の標準目安	30秒
------------------------------	-----

・この時間が著しく長くなった場合はピストンの摩耗や弁の破損などの可能性があります。標準目安より50%以上長くなった場合、または稼働時間(モーターが回転している実運転時間)が500時間を超えた場合は修理・点検に出してください。

7. 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

(注: 0.1MPa ≒ 1気圧 ≒ 1kgf/cm²)

こんな症状	考えられる原因	解決方法
動かない	電源プラグが外れている	電源プラグをコンセントに差し込んでください
	コンセントのブレーカーが切れている	ブレーカーを入りにする
	運転スイッチがOFFになっている	運転スイッチをONにしてください
	タンク内の圧力が再起動圧力以上になっている	そのままお使いください
	リセットボタンが飛び出している	リセットボタンを押してください
	運転スイッチ以外でコンプレッサーを停止させた	運転スイッチを一旦「OFF」にしてから「ON」にしてください
モーターが回り続けて止まらない	モーター内のサーモスタットが作動してモーターが停止した。	モーター内が過熱しております。運転スイッチをOFFにして電源プラグを抜いて、モーターを冷却してください。過熱の原因を取り除いてから、電源プラグを差し込み、運転スイッチをONにしてください
	ドレンコックが開放されたままになっている	ドレンコックを閉めてください
	安全弁からエアが漏れている	一度安全弁のリングを引いて圧力解放してください、それでも漏れる場合は安全弁を交換してください
	ねじ部からエアが漏れている	ねじ部を適正なトルクで増し締めまたはシールし直してください
エアを使っていないのに勝手にコンプレッサーが動き出す	エアフィルターが汚れている	エアーフィルターエレメントを清掃または交換する
	圧縮空気の温度が下がって圧力が下がった	そのままお使いください
音が大きくなったまたは異音がる	エアが漏れている	ねじ部を適正なトルクで増し締めまたはシールし直してください
	シリンダー内や弁が破損している	修理に出してください
停止時にエアの漏れる音がする	ねじが緩んでいる	増し締めしてください
	シール材不良	シールテープを交換またはシール材の再塗布をしてねじをしてください
	亀裂が入っている	修理に出してください
	負荷軽装置のモーター停止時吐出管減圧アンローダーバルブの働きによる音(1秒程度)	異常なし。そのままお使いください
モーターの回転が不安定	近くで電力消費量の大きい機器等を使用している	電力消費量の大きい機器を切るか、離れた別の配線のコンセント使用してください

